

<プレス・リリース>

2007年11月22日

「Think!ロウゴ」実行委員会
フィデリティ投信株式会社

**現役大学生が年金や老後の社会保障について考え政策提言を行う啓蒙プロジェクト
『Think!ロウゴ 2008』どうなる!? どうする!?「ぼくらの年金」「家族の年金」**

全国 81 組の応募から第一次審査を通過した 10 組 27 名が決定

～ 外部講師を招いた第一回セミナーを実施、活発な意見交換が行われる ～

フィデリティ投信株式会社（東京都港区、取締役兼代表執行役社長：トーマス・バルク、以下フィデリティ）では、老後の所得保障をテーマとした現役大学生による提言を行う啓蒙活動プロジェクト『Think!ロウゴ（シンク・ロウゴ）2008』（副題：どうなる!?どうする!?「ぼくらの年金」「家族の年金」以下、『Think!ロウゴ 2008』）において、来年1月に開催される政策プラン発表会に向けた第一次審査が行われました。審査の結果、全国の応募の中から10組27名の現役大学生が選抜されました。

『Think!ロウゴ 2008』（協賛：フィデリティ投信、後援：厚生労働省・米国大使館）は、日本の将来を担う若者に、老後の所得保障や自助努力による資金計画について学び、考える機会を提供するイベントで、今年が2度目の開催となります。イベントでは全国の応募から第一次、第二次審査を経て選抜された大学生が最終的に学生の柔軟な考え方や発想を「提言」という形でまとめ、政治家や各方面のオピニオンリーダーが出席する提言発表会において、若者からの意見を直接伝えるためのプレゼンテーションが行われることになっています。

全国から昨年より多い81組184名の応募：充実した講師陣によるセミナーを開催

今年の学生募集は2007年9月1日（土）から10月19日（金）までの間、専用のウェブサイト上で行われました。今年は昨年よりさらに多い81組184名の応募があり、その中から10組の大学生が書類審査を通じて今回選抜されています。また、11月には選抜された学生が外部講師を招いた第一回セミナーに参加しました。セミナーでは公的年金制度や老後所得保障システムの概要、企業年金などをテーマとした、様々な講義や検討会が行われました。

- 第一回セミナーの主な内容（2007年11月17日～18日 於：フィデリティ投信 東京本社会議室）講師／講義内容：*敬称略、講師名はセミナー登場順
- 上智大学法学部教授 森戸 英幸 「引退後所得保障システムの全体像」「被雇用者の引退過程に関わる法政策 企業年金を中心に」

- 青山学院大学法学部准教授 台 豊 「年金政策の“作り方”」
- 一橋大学経済研究所教授 高山 憲之 「持続可能な年金制度」
- 慶応義塾大学経済学部教授 駒村 康平 「年金制度の課題」

政治家との懇親会：年金問題、老後の所得保障などについて意見交換

また、セミナーでは民主党 衆議院議員 古川元久氏、自民党 衆議院議員 鈴木馨祐（けいすけ）氏 ^注セミナー登場順 参加のもと、昼食を交えた懇親会も開催されました。両氏からは「（年金問題は）単に年金だけの話ではなく、人口構造や雇用の問題、財政など様々な要因が関係している。一つの問題を見るときに『木』だけではなく『森』を見ることが必要（古川氏）。」「若者らしい、柔軟な発想で将来のプランを立てて欲しい（鈴木氏）。」といった様々なアドバイスがありました。学生からも活発な質問や意見が出されました。

『Think!ロウゴ 2008』では今後、来月大阪にて行われる第二回セミナーやフィールドワークを経て、最終選考に残った上位3組が2008年1月、政治家やオピニオンリーダーに向けた提言発表会でプレゼンテーションを行います。昨年行われた政策提言会の様子や、今年のセミナーの様子などは専用ウェブサイト <http://www.think-rougo2008.com/>をご参照ください。

###

『Think!ロウゴ』について

『Think!ロウゴ』（協賛：フィデリティ投信、後援：厚生労働省・米国大使館）は、日本の将来を担う若者に、老後の所得保障や自助努力による資金計画について学び、考える機会を提供するイベントで、今年で2回目の開催となります。「Think!ロウゴ」は企画に賛同する現役大学生による「Think!ロウゴ」実行委員会を中心に運営され、イベントでは全国から集まった大学生が最終的に学生の柔軟な考え方や発想を「提言」という形でまとめ、政治家や各方面のオピニオンリーダーが出席する提言発表会において、若者からの意見を直接伝えるためのプレゼンテーションが行われることになっています。詳細はウェブサイト <http://www.think-rougo2008.com/>をご参照ください。

フィデリティ投信について

フィデリティ投信株式会社は投資信託及び企業年金向け運用商品やサービスを提供しています。フィデリティ投信が運用する公募投資信託を扱う金融機関は、証券会社、銀行、保険会社、合計156社です（2007年9月末現在。含、フィデリティ証券）。フィデリティ投信はフィデリティ・ジャパン・ホールディングス株式会社の子会社です。フィデリティ・ジャパン・ホールディングスの親会社であるフィデリティ・インターナショナル・リミテッド（FIL）は、米国を除く世界の主要なマーケットで個人投資家、機関投資家に向けて投資信託、確定拠出年金、確定給付企業年金、マルチマネージャー商品等の運用商品並び

にサービスを提供しています。2007年9月末現在、F I Lの総預かり運用資産は約34.4兆円でした。F I Lは英国、ドイツ、日本、香港、インドを含む世界23カ国・地域に拠点を設けています。

1ドル=115.015円で計算

フィデリティ投信株式会社（金融商品取引業者）登録番号：関東財務局長（金商）第388号
加入協会：社団法人投資信託協会及び社団法人日本証券投資顧問業協会

###

【ご参考】「Think!ロウゴ 2008」実施概要

イベント名称：

『Think!ロウゴ2008 どうなる!?どうする!?「ぼくらの年金」「家族の年金」』

イベント期間：2007年9月1日（土）～ 2008年1月23日（水）

参加学生募集～提言発表会実施までの期間

主催：『Think!ロウゴ』実行委員会

協賛：フィデリティ投信株式会社

後援：厚生労働省、米国大使館

対象・応募方法：

<対象者> 日本全国の大学に在籍する学生を対象とし、2名～3名のグループで応募

<応募方法> 専用のHP(<http://www.think-rougo2008.com/>)を通じて応募(書類審査)

スケジュール：

2007年 9月 参加学生募集

10月 参加学生決定(応募時のエントリーシートによる書類審査)

11月(11/17および11/18)

提言テーマに沿った講義(於：フィデリティ投信 東京オフィス)

12月(12/15および12/16)

提言テーマに沿った講義(於：フィデリティ投信 大阪オフィス)

2008年 1月23日 提言発表会(東京国際フォーラム)

2月 米国リタイアメント研修ツアー(最優秀に選ばれた1チームを対象)

上記は現時点のもので今後変更される可能性があります。

その他の詳細はウェブサイト<http://www.think-rougo2008.com/>をご参照ください。

表彰：最優秀賞、優秀賞、佳作 各1組

当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値、運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に記載されている個別の銘柄・企業名については、あくまでも参考として申し述べたものであり、その銘柄又は企業の株式等の売買を推奨するものではありません。資本関係のないFidelity International LimitedおよびFMR Corp. とそれらの関連会社のネットワークを総称して「フィデリティ」ということがあります。投資信託のお申し込みに関しては、下記の点をご理解いただき、投資の判断はお客様自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。投資信託は、預金または保険契約でないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。販売会社が登録金融機関の場合、証券会社と異なり、投資者保護基金に加入しておりません。投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。投資信託は、国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては目論見書や契約締結前交付書面を良くご覧下さい。

ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。

申込時に直接ご負担いただく費用……………申込手数料 上限 3.15%(消費税等相当額抜き3%)

換金時に直接ご負担いただく費用……………信託財産留保金 上限 1%

投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用……………信託報酬 上限 2.0265%(消費税等相当額抜き1.93%)

その他費用……………上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。目論見書、契約締結前交付書面等でご確認ください。ご注意)上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、フィデリティ投信が運用するすべての公募投資信託のうち、徴収する夫々の費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、夫々の投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に良く目論見書や契約締結前交付書面をご覧下さい。

1071122-5